



2023年8月14日

各 位

会 社 名 株式会社 Birdman
代 表 者 名 代表取締役社長 伊達 晃洋
(コード番号：7063 東証グロース)
問 合 せ 先 取締役 CFO 兼 CHRO 三橋 秀一
(TEL 03-6865-1322)

繰延税金資産の取り崩し並びに通期業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は2023年6月期(2022年7月1日～2023年6月30日)において、下記のとおり繰延税金資産の取り崩しを行うことといたしました。

また、2023年2月13日に公表いたしました2023年6月期の通期連結業績予想と本日公表の実績に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 繰延税金資産の取り崩しについて

現在の事業環境及び今後の業績動向等を勘案し、今後の繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、当連結会計年度末において繰延税金資産を取り崩すこととしました。これにより2023年6月期決算において法人税等調整額(損)を43百万円計上いたしました。

2. 2023年6月期通期連結業績予想と実績との差異(2022年7月1日～2023年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 4,096	百万円 378	百万円 364	百万円 272	円 銭 53.17
今回修正予想(B)	4,484	56	42	△7	△1.53
増減額(B-A)	388	△321	△321	△279	
増減率(%)	9.5	△85.2	△88.2	—	
(参考) 前期実績 (2022年6月期)	—	—	—	—	—

注) 当社は、2023年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。

そのため、当該株式分割が2023年6月期の期首に行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算出し

ております。

当社は、2022年6月期においては、連結財務諸表を開示していないため、2022年6月期の実績の記載をしておりません。

3. 差異の理由

売上高につきましては、MX事業は大型案件の競合プレゼンにおける案件獲得率は高い状況にありますが、営業担当者の退職そして営業担当者の採用が想定通りに進められなかったために、4Qに納品する案件獲得能力の強化が想定通りに進捗せず、クライアント数とクライアント平均粗利高が計画に届かなかったために売上高が予想を下回りました。また、EX事業は4Qに開催したツアーにおけるチケット販売数が計画に届かなかったために4Qの売上高は予想を下回りました。一方で、株式会社Entertainment Nextは「KROSS vol.1-kpop masterz-」や「KROSS vol.2」等の大規模ライブの開催に伴う集客数が予想を大きく上回りました。以上の結果として、売上高は予想を上回る結果となりました。

利益面につきましては、MX事業は売上高の差異に加えて、大型案件の受注に伴う外注費の発生等により営業利益が予想を下回ったことにより、4QにおけるMXセグメント利益はマイナスとなりました。加えて、EX事業は売上高の差異に加えて、全国ホール&アリーナツアーの開催に伴い発生する会場代や演出等に要する費用が当初の想定よりも高額となったこと等により営業利益、経常利益が予想を下回りました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、現在の事業環境及び業績動向を踏まえ、繰延税金資産を取り崩したことにより、予想を下回ることとなりました。

以上